

その他の事業

# 英語音声指導法セミナー

講師

御園 和夫 先生  
関東学院大学名誉教授、  
日本実践英語音声学顧問、  
沖英会顧問



「英語コミュニケーション能力向上」には効果的な音声指導が不可欠です。何をどう教えたらいいかを具体的に提示すると共に、指導者自身の英語発音技能向上にも役立ちます。

2020年度より小学校3、4年生からの外国語活動、5、6年生からの英語教科化が全国的に導入されます。大切なのは、英語での4技能5領域をバランスよく学習することです。このような背景のもと、英語音声学並びに英語音声教授法の権威である言語学者・御園和夫先生（関東学院大学名誉教授、日本実践英語音声学顧問）を中心とした英語音声指導法セミナーを開催します。

本セミナーの特徴は、現場の英語教員がネイティブスピーカーに頼ることなく行える効果的な発音指導法を提示することです。今回は独自に作成した「英語発音 Can-do リスト」（試案）を基に、英語の伝え方、通じる発音の教え方（イントネーション、アクセントなど）に焦点を当てます。希望者には英語発音実技 評価を実施し、評価証を授与します。なお、本セミナーは「英語立県沖縄」応援事業の一環として捉え、「沖縄の地域性・優位性を活かした英語教育」をコンセプトに本県の英語教育の改善・充実に資することを目的に開催します。

その他の事業

# 定例会



～一般社団法人沖縄の英語教育を考える会（略称：沖英会）の News Letter へようこそ！～

この度、長年の懸案事項であった沖英会の「News Letter」を関係者のご尽力により刊行できたことを大変喜んでます。

ご承知のように「グローバル化時代をいかに生き抜くか」という視点から国（文部科学省、経済産業省、教育再生会議等）では様々な施策等を展開しています。特に「英語教育改革実施計画」では2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え小中高の各段階を通し英語教育を充実し生徒の英語力向上を図るため新たな体制整備を強力に推進しています。

沖縄県でも沖縄21世紀ビジョンの「時代を切り拓き世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな美ら島おきなわを創造する」という基本理念の下、国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築が求められ、本県の振興に貢献できる志を持った人材の育成や国際感覚を有した人材育成が喫緊の課題となっています。

このような背景から沖縄県教育委員会では2012年から「英語立県沖縄推進戦略事業」に取り組んでおり、沖英会でも同事業と連動しながら「英語立県沖縄応援事業」と位置づけ、各種事業等の支援にも取り組んでいます。

沖英会は2007年に沖縄の地域性・優位性を活かした英語教育の振興を目的に産・学・官が協力して取り組むために設立された団体です。これまでも英語教育者の支援を目的に「英語教育を考えるフォーラム」、英語学習者の支援を目的に「学校対抗英語スペリングコンテスト」、更に留学希望者の支援を目的に「留学フォーラム」（現在は休止）等を開催してきました。

引き続き、沖英会では「沖縄の地域性・優位性を活かした英語教育の振興」をコンセプトに各種事業等を推進しながら「未来社会の創造者」の育成に取り組むとともに次世代の英語教育と一緒に考えるため様々な分野からの新規会員を募集中です。

この「News Letter」が少しでもその一助になれば幸いです。

今後とも関係各位の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



会長 大城 浩  
President OOSHIRO Hiroshi

*I can accept failure. Everyone fails at something.  
But I cannot accept NOT TRYING!*

# News Letter

発行者：一般社団法人沖縄の英語教育を考える会  
所在地：沖縄県那覇市安里 1-1-53  
発行責任者：会長 大城 浩  
発行日：令和2年11月吉日

No.1



英語学習者対象事業

## 学校対抗英語スペリングコンテスト



英語立県沖縄応援事業

# 第11回学校対抗英語スペリングコンテスト



英語教育関係者対象事業

## 英語教育を考えるフォーラム



# Hello! We are Okieikai.

## 沖英会の理念

✓ グローバル化が急速に進展し、国際的な相互依存が一層深まっていく中で、子供たちが21世紀を生き抜くためには、国際共通語としての英語のコミュニケーション能力を身に付けることが不可欠です。沖縄県では、国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築が求められ、本県の振興に貢献できる「志」を持った人材の育成や世界との交流ネットワークの構築、国際感覚を有した人材育成の形成が喫緊の課題です。

沖英会では、「英語立県沖縄」応援事業の一環として、以下の主な事業を実施し、沖縄県の英語教育の振興に寄与して参ります。

## 沖英会の事業

### 英語教育関係者対象事業

英語教育を  
考える  
フォーラム

### 英語学習者対象事業

学校対抗  
英語スプリング  
コンテスト

### 留学希望者対象事業

留学  
フォーラム  
(休止中)

### その他の事業

英語音声  
指導法  
セミナー  
周年事業等

## 沖英会の沿革

2007年(平成19年) 任意団体 「沖縄の英語教育を 考える会」発足	2008年(平成20年) 第1回英語教育を 考えるフォーラム開催	2009年(平成21年) 第2回英語教育を 考えるフォーラム開催 第1回学校対抗英語 スプリングコンテスト 開催	2010年(平成22年) 第3回英語教育を 考えるフォーラム開催 第2回学校対抗英語 スプリングコンテスト 開催	2011年(平成23年) 第4回英語教育を 考えるフォーラム開催 第3回学校対抗英語 スプリングコンテスト 開催	2012年(平成24年) 一般社団法人へ移行 第5回英語教育を 考えるフォーラム開催 第4回学校対抗英語 スプリングコンテスト 開催
2013年(平成25年) 第6回英語教育を 考えるフォーラム開催 第5回学校対抗英語 スプリングコンテスト開催 第3回留学フォーラム開催	2014年(平成26年) 第7回英語教育を 考えるフォーラム開催 第6回学校対抗英語 スプリングコンテスト開催 第4回留学フォーラム開催	2015年(平成27年) 第8回英語教育を 考えるフォーラム開催 第7回学校対抗英語 スプリングコンテスト開催 創立10周年記念イベント 第1弾特別講演会開催	2016年(平成28年) 第9回英語教育を 考えるフォーラム開催 第8回学校対抗英語 スプリングコンテスト開催 創立10周年記念イベント 第2弾特別講演会開催	2017年(平成29年) 第10回英語教育を 考えるフォーラム開催 第9回学校対抗英語 スプリングコンテスト開催 第1回英語音声指導 「無料体験セミナー」開催	2018年(平成30年) 第11回英語教育を 考えるフォーラム開催 第10回学校対抗英語 スプリングコンテスト開催 第2回英語音声指導 「無料体験セミナー」開催 第3回英語音声指導 「無料体験セミナー」開催



次世代の英語教育について一緒に考えませんか  
Thinking Toward New Teaching Methods in English Education

### 目的 Purpose

産・学・官が連携して沖縄県における次世代の英語教育の在り方を考え、振興していくことを目的とします。  
The main purpose of our organization is to promote English education in Okinawa through the reinforcement of English 英語教育に従事する方だけではなく、今後の英語教育を担う方々と一緒に新しい英語教育について考え、 usage within industry, public, and academia. We will focus on discussing new teaching methods with English educators in 沖縄県の英語教育の発展に貢献していきます。  
hopes of improving and progressing on current education standards.

### 活動 Activities

英語教育者や英語学習者、留学希望者をサポートするために毎年、「英語教育フォーラム」や「学校対抗英語スプリングコンテスト」等を開催します。またワークショップ as "English Forum," "English Spelling Contest," and etc." We are seeking a new type of English education through プを通して、新しい英語教育の形を追求していきます。  
these activities.

### 募集 Looking For

- 将来英語教育者に興味のある学生
- Current students who would like to teach English
- 小学校・中学校・高校の英語教育者
- Current English teachers at educational institutions
- その他、英語教育に興味がある方
- Those who are interested in English education



### 一般社団法人

沖縄の英語教育を考える会

Okinawa Association  
of English Education Inc.

お問い合わせ：  
Inquires:



E-mail:  
member@okieikai.com

Matayoshi  
又吉 (matayoshi-i@owjc.ac.jp)  
Sueki  
末木 (suekicks@jcom.home.ne.jp)

## 会員紹介 Member introduction



氏名：名城 義久  
出身地：今帰仁村

### 沖英会に一言

創立12周年を迎える一般社団法人沖縄の英語教育を考える会は、会長の大城浩先生を中心に、沖縄県の英語教育に、絶えず、知的かつ先進的な刺激を与えてきた。「学校対抗英語スプリングコンテスト」「英語教育を考えるフォーラム」「英語音声指導セミナー」等英語に関わる生徒・学生から教師、一般の方々まで、沖英会との繋がりは深い。今後とも沖英会が、沖縄県の国際化と現場の先生、子供たちのよりよい未来の為に、発展していくよう会員の一人として力を尽くしたい。

### 仕事以外で一言

名桜大学の図書館ギャラリーで、言葉と写真の作品展を開催して8年目になる。8回目の写真は風景や人物を被写体に今帰仁村や本部町、名護市で撮影した約80点を展示した。「夢」や「愛」などをテーマにした詩など「コトバ」の作品は約500点を展示した。写真から癒しを、コトバから勇気を感じて欲しいと願った。「教育は芸術、教師はアーティスト」というシュタイナーの言葉がある。私は、英語教師としての尚一層の、高みを目指すため、アーティストでありたい。



氏名：仲村 昌康  
出身地：久米島字山里出身

### 沖英会に一言

コロナ禍のため不安で不便な日々が続いています。みんなが心身ともに元気で再会できることを楽しみにしています。

### 仕事以外で一言

仕事以外で一言・・・「憩いの場」としての家庭  
中学3年の社会科(公民)の教科書に「家庭とは、①生活の場、②教育の場、③愛情の場、そして④憩いの場である。」と記述されていたのを覚えている。私自身が家庭を持つようになってからもこの4点が揃っているか、意識するようになった。また教師として多くの生徒達の家庭をこの4つの観点から観察してきた。そして問題を抱えている生徒達の家庭に最も共通して欠けているのは、「憩いの場」としての家庭だと感じさせられた。  
家庭が楽しくないで友達の家を外泊するようになり、それが喫煙や飲酒などに繋がるなどはその一例である。  
私の両親は農業で5名の子供達を育てた。稲作、サトウキビ、タバコ栽培、野菜作りの他に家畜として、牛、馬、山羊、豚、鶏を飼っていた。家畜の世話、子供の仕事であり、殆どの休みはなかった。同級生達が夏休みなどに家族と海や山で過ごすのが羨ましかった。  
最近 Amazon で「大草原の小さな家」を見ている。大変素晴らしい番組であり、お勧めしたい。特にこれから家庭を築く若い人達には参考になる点があり、多くのことをまなべる。印象的なのは、父親のチャールズの生活がどんなに苦しく、忙しくても家庭を「憩いの場」にしようと努める場面が随所に見受けられる。夕食後はバイオリンを演奏し、休日にはピクニックやキャンプを計画し、人生を楽しく豊かにしようと工夫と努力を重ねている。私達も仕事一辺倒になるのではなく、人生を楽しむという点を見習いたい。